

## 2020年度 長野県岡谷東高等学校シラバス

教科	公民	科目	現代社会	単位数	3	学年	3	コース	教養フロンティア（人間系） 健康スポーツ
								必修・選択	必修
使用教材	教科書	最新 現代社会 新訂版（実教出版）							
	副教材	最新 現代社会 新訂版 演習ノート（実教出版） ニュービジョン 現社（浜島書店）							

### 学習目標

現代社会における諸問題のしくみや特色を理解し、現代を生きるうえで求められる教養を身につける。

### 学習方法

- ・授業プリントや板書ノートを活用した基本的知識の取得
- ・現代社会の問題の構造的理解とその解決への考察に向けた資料読解
- ・既存知識や資料活用スキルを活かしたレポート作成
- ・反転学習を取り入れた協働学習

### 学習評価

○次の四つの観点に基づき、学習内容のまとまりごとに下の評価マトリクスにより評価を行い学年末に5段階の評定に総括します。

<b>①関心・意欲・態度</b>	授業で扱われる現代社会の諸問題に対する基本的知識の獲得やその問題の背景や解決策への考察に意欲的な態度を持っている。
<b>②思考・判断・表現</b>	現代社会の課題を見だし、その背景や解決策について考察できる。 学習問題に対する考えを学友と共有し、ともにまとめ、説明することができる。
<b>③技能</b>	授業で扱われる現代社会の問題に関する諸資料を様々なメディアを通して収集、選択し、効果的に活用している。
<b>④知識・理解</b>	現代社会の諸問題について理解し、その知識を習得する。

評価方法\観点	評価の観点				備考
	①	②	③	④	
授業自己評価	◎				
ワークシート		○	◎		
レポート	○	◎	○		
小テスト		○	○	◎	単元終了時
定期考査		○	○	◎	

※表中の◎は観点の中でより重視するポイントです

※それぞれの評価の観点はA、B、Cの三段階で評価します。

### 学習方法等のアドバイスなど

- ・基本的な知識の習得は必要だが、単純な暗記ではなく、現代社会を取り巻く事象の原理・しくみを「理解する」ことを強く求める
- ・日々の授業を大切に、家庭学習等で復習をこころがけること
- ・ニュース番組や新聞にふれ、社会の動きに興味・関心をもつこと
- ・センター試験受験を考えているものは授業で学習したことをベースに、過去問や問題集に取り組むこと

## 年間学習計画

学期 時間数	学習内容	学習のねらい	学習活動 【評価方法】
1 学期 33単位時間	第1部 私たちの生きる社会 第1章 地球環境問題 第2章 資源エネルギー問題 第3章 生命科学と情報技術の課題 第2部 現代の社会と人間 1 青年期と自己の形成 第1章 自分らしく生きる 第2章 人間としてよく生きる 第3章 日本人としての自覚 2 現代の民主政治と日本国憲法 第1章 現代国家と民主政治 第2章 日本国憲法の基本的性格 第3章 日本の政治機構と政治参加	第1部では、地球環境問題や資源エネルギー問題などの現代社会における諸課題を、自己との関わりと関連させながら学びます。 第2部では、政治や経済を中心に学びます。政治分野では知識や仕組みの理解はもちろん、主権者である私たちの意思決定が政治に反映されるプロセスに着目し、現代政治の諸課題について考察していきます。経済分野では、原理・しくみを理解することに重点を置いた授業をします。	<b>【評価方法】</b> 自己評価アンケート（単元終了時） ワークシート レポート 定期考査
2 学期 45単位時間	2 現代の民主政治と日本国憲法 第1章 現代国家と民主政治 第2章 日本国憲法の基本的性格 第3章 日本の政治機構と政治参加 3 現代の経済社会と国民生活 第1章 現代の経済社会 第2章 日本経済の特質と国民生活 4 国際社会と人類の課題 第1章 国際政治の動向 第2章 国際経済の動向と国際協力		
3 学期 18単位時間	第3部 共に生きる社会を目指して 1 WTO体制と発展途上国 =公正な国際貿易を目指して= 2 個人の自由と持続可能な社会	第3部では、持続可能な社会や国際社会について学びます。持続可能な社会や多文化共生社会についての基本的な知識について学習するとともに、そのような社会での自己形成についても考えていきます。	